

|   |   |   |   |  |          |
|---|---|---|---|--|----------|
| 石川工業高等専門学校  |   | 開講年度  | 平成31年度 (2019年度)   | 授業科目   | 国語 I I I |
| 科目基礎情報  |   |   |   |  |          |
| 科目番号  | 15300   | 科目区分  | 一般 / 必修   |  |          |
| 授業形態  | 講義  | 単位の種別と単位数   | 履修単位: 2   |  |          |
| 開設学科  | 機械工学科   | 対象学年  | 3   |  |          |
| 開設期   | 通年  | 週時間数  | 2   |  |          |
| 教科書/教材  | 精選現代文B (筑摩書房) 古典B (古文・漢文編各1冊計2冊、筑摩書房) / 精選現代文B課題ノート (筑摩書房) 古典B課題ノート (筑摩書房) 国語常識ベーシック (数研出版) カラー版新国語便覧 (第一学習社・2年次より継続)   |   |   |  |          |
| 担当教員  | 吉本 弥生, 宮下 祥子  |   |   |  |          |
| 到達目標  |   |   |   |  |          |
| 1. 近現代の評論・文芸作品を論理的に読解し、鑑賞できる。<br>2. 文法的知識を踏まえての古文・漢文読解ができ、鑑賞できる。<br>3. 文章及び口頭発表で自分の意見を表現し、また他人の意見を批評することができる。<br>4. 実用的な国語知識を習得し、自由に運用することができる。<br>5. 読後感や随筆の文章を書くことができる。 |   |   |   |  |          |
| ループリック  |   |   |   |  |          |
|   |   | 理想的な到達レベルの目安  | 標準的な到達レベルの目安  | 未到達レベルの目安  |          |
| 評価項目1   | 到達目標1   | 近現代の文章を読解し、その思想的背景や芸術的価値を理解できる。   | 近現代の文章を文意に沿って誤解なく読解することができる。                              | 近現代の文章を、先入観などから正確に読み解くことができない。   |          |
| 評価項目2   | 到達目標2   | 古典的文章について、文法・句法を理解を踏まえ読解し、その思想や芸術的価値を理解できる。                             | 古典的文章について、文法・句法を理解を踏まえ口語訳できる。                             | 古典的文章について、文法・句法が理解が不十分で正確に口語訳できない。   |          |
| 評価項目3<br>4・5  | 到達目標3・4・5   | 漢字・敬語・手紙文の知識を運用でき、優れた思想を論理的な文章で表現し、口頭でも表現力豊かに伝え、また他人の意見について正確に理解し批評できる。 | 漢字・敬語・手紙文の知識を理解し、自分の思想を文章で表現し、口頭でも伝え、また他人の意見について感想を述べられる。 | 漢字・敬語・手紙文の知識について理解が不足しており、自分の思想をつまみ文章でまとめられず、他人の意見について自分なりの意見をまとめることができない。 |          |
| 学科の到達目標項目との関係   |   |   |   |  |          |
| 本科学習目標 1 本科学習目標 4   |   |   |   |  |          |
| 教育方法等   |   |   |   |  |          |
| 概要  | 1・2年次の国語学習を踏まえ、(1)近現代の評論・文芸作品の鑑賞を通じた文章読解力養成、(2)古文・漢文の読解・鑑賞、(3)文章の作成(4)漢字を含む実用的な国語力の修得に取り組む。以上を通じて、技術者として必要な基礎学力を習得するとともに、自分の考えを正しく表現できる豊かな人間性を身につける。  |   |   |  |          |
| 授業の進め方・方法   | 【授業の進め方】講義・グループ学習・小テスト・レポート・実演により、近現代および古典的文章の読解、表現学習を行う。<br>【事前事後学習など】日頃の予習復習や定期試験・小テスト前の学習を励行すること。夏休みの宿題レポート、小テスト(漢字)などを課す。<br>【関連科目】国語I(1年次)、国語II(2年次)、日本文学(4年次)   |   |   |  |          |
| 注意点   | 教科書は2年次のものを引き続き使用する。紛失した者は各自生協で注文すること。また新たに使用する副教材は全員購入のこと。<br>【評価方法・基準】成績評価の基準として50点以上を合格とする<br>前期末：中間試験(50%)、期末試験(50%)<br>学年末：全定期試験(80%)、小テスト・レポート(20%)<br>前期中間試験、前期末試験、後期中間試験、学年末試験を実施し、レポート提出、小テスト、実演評価を加味する。 |   |   |  |          |
| テスト   |   |   |   |  |          |
| 授業計画  |   |   |   |  |          |
|   |   | 週   | 授業内容  | 週ごとの到達目標   |          |
| 前期  | 1stQ  | 1週  | 近代の成立(評論1)  | 評論文について、論理をたどりながら正確に読解できる。   |          |
|   |   | 2週  | 近代の成立(評論1)  | 評論文について、論理をたどりながら正確に読解できる。   |          |
|   |   | 3週  | 資料収集の方法(情報収集・整理1)   | 目的に応じて、適切な媒体(印刷物、インターネット)から情報を収集し、整理できる。                                   |          |
|   |   | 4週  | レポートの書き方(文章表現1)   | 整理した情報をもとに、論理構成、展開を工夫し、主張を伝える文章作成ができる。                                     |          |
|   |   | 5週  | 平家物語(古文1)   | 文法的知識に基づいて口語訳ができる。   |          |
|   |   | 6週  | 平家物語(古文1)   | 文法的知識に基づいて口語訳ができる。   |          |
|   |   | 7週  | 口頭発表の方法(口頭発表1)  | 論理的な文章作成を踏まえて自分の意見を口頭で発表し、他人の発表を聞いて批評をまとめることができる。                          |          |
|   |   | 8週  | 陰翳礼讃(評論2)   | 評論文について、論理をたどりながら正確に読解できる。   |          |
|   | 2ndQ  | 9週  | 陰翳礼讃(評論2)   | 評論文について、論理をたどりながら正確に読解できる。   |          |
|   |   | 10週   | 手紙の書き方(実用国語1)   | 実用的な文章を相手や目的に応じた体裁や語句を用いて、作成できる。   |          |
|   |   | 11週   | 四字熟語・ことわざ(実用国語2)  | 実用的な国語知識を習得し、自由に運用することができる。  |          |
|   |   | 12週   | 詩(詩歌1)  | 詩の構造・言葉の音感・リズムの意義・主題について理解し、鑑賞できる。   |          |
|   |   | 13週   | 信玄何在(漢文1)   | 漢文句法を理解し、書き下し文作成と口語訳をした上で、登場人物の思想、文章全体が有する思想について理解できる。                     |          |

|    |      |     |                     |  |
|----|------|-----|---------------------|--|
|    |      | 14週 | 信玄何在（漢文1）           | 漢文句法を理解し、書き下し文作成と口語訳をした上で、登場人物の思想、文章全体が有する思想について理解できる。 |
|    |      | 15週 | 前期復習                | 前期学習を振り返り、自分の問題点を発見し解決できる。                             |
|    |      | 16週 |                     |  |
| 後期 | 3rdQ | 1週  | リスク社会とその希望（評論3）     | 評論文について、論理をたどりながら正確に読解できる。                             |
|    |      | 2週  | リスク社会とその希望（評論3）     | 評論文について、論理をたどりながら正確に読解できる。                             |
|    |      | 3週  | ことばへの問い（評論4）        | 評論文について、論理をたどりながら正確に読解できる。                             |
|    |      | 4週  | ことばへの問い（評論4）        | 評論文について、論理をたどりながら正確に読解できる。                             |
|    |      | 5週  | 物語としての自己（評論5）       | 評論文について、論理をたどりながら正確に読解できる。                             |
|    |      | 6週  | 物語としての自己（評論5）       | 評論文について、論理をたどりながら正確に読解できる。                             |
|    |      | 7週  | 敬語（実用国語2）           | 実用的な国語知識を習得し、自由に運用することができる。                            |
|    |      | 8週  | 藤野先生（小説1）           | 作者魯迅について理解し、主人公の思想・心理・行動について理解できる。                     |
|    | 4thQ | 9週  | 藤野先生（小説1）           | 作者魯迅について理解し、主人公の思想・心理・行動について理解できる。                     |
|    |      | 10週 | 藤野先生（小説1）           | 作者魯迅について理解し、主人公の思想・心理・行動について理解できる。                     |
|    |      | 11週 | 小論文の書き方（文章表現2）      | 論理構成、展開を工夫し、主張を伝える文章作成ができる。                            |
|    |      | 12週 | 「である」ことと「する」こと（評論6） | 評論文について、論理をたどりながら正確に読解できる。                             |
|    |      | 13週 | 「である」ことと「する」こと（評論6） | 評論文について、論理をたどりながら正確に読解できる。                             |
|    |      | 14週 | 「である」ことと「する」こと（評論6） | 評論文について、論理をたどりながら正確に読解できる。                             |
|    |      | 15週 | 後期復習                | 後期学習を振り返り、自分の問題点を発見し解決できる。                             |
|    |      | 16週 |                     |  |

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類  | 分野      | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル  | 授業週 |
|---|---------|------|-----------|--|-----|
| 基礎的能力                                       | 人文・社会科学 | 国語   | 国語        | 論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。                        | 3   |
|   |         |      |           | 論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。  | 3   |
|   |         |      |           | 文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。     | 3   |
|   |         |      |           | 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。                               | 3   |
|   |         |      |           | 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。                                     | 3   |
|   |         |      |           | 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。                         | 3   |
|   |         |      |           | 専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。                                 | 3   |
|   |         |      |           | 実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。                 | 3   |
|   |         |      |           | 報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。                   | 3   |
|   |         |      |           | 収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。                                  | 3   |
|   |         |      |           | 報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。 | 3   |
|   |         |      |           | 作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。                | 3   |
|   |         |      |           | 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。                                      | 3   |
|   |         |      |           | 相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。             | 3   |
| 新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。 | 3       |      |           |  |     |

### 評価割合

|         | 試験 | 発表 | 相互評価 | 態度 | ポートフォリオ | その他 | 合計  |
|---------|----|----|------|----|---------|-----|-----|
| 総合評価割合  | 80 | 5  | 0    | 0  | 0       | 15  | 100 |
| 基礎的能力   | 80 | 5  | 0    | 0  | 0       | 15  | 100 |
| 専門的能力   | 0  | 0  | 0    | 0  | 0       | 0   | 0   |
| 分野横断的能力 | 0  | 0  | 0    | 0  | 0       | 0   | 0   |